

Life・Culture &amp; Welfare 地域から発信 福祉を文化へ

# Our Life 157号

静岡福祉文化を考える会事務局

〒424-0841

静岡市清水区追分3-5-17 NPO法人泉の会内

Tel:054-367-2878 Fax:054-367-2884

- ＊内 容 ＊
- 「静岡発福祉文化の創造 30年の軌跡を検証」テーマに2025年度活動スタート… …… P.1
  - 第1回公開型研修会で“私にとって、ホッとするご近所”を語る… …… P.2
  - 「第24回静岡県福祉文化研究セミナー開催案内」「30年誌」作業進行中… …… P.3
  - 活動見える化・情報発信 ブログアクセス件数アップ「事務局日誌拝見」「編集後記」… …… P.4

## 2025年度活動テーマは、「静岡発 福祉文化の創造30年の軌跡を検証する」 さらに、かるたの有効活用で「“ご近所福祉”こそ福祉文化」を発信検証

異業種交流、世代を超えた交流の場、共助社会の再構築、専門性と市民性の融合等、様々な角度から「静岡発（地方発）福祉文化の創造」を県域に発信してきた本会は、今年度、30年の節目の福祉文化実践活動に入った。今年度（2025年度）は、活動テーマ：「静岡発 福祉文化の創造30年の軌跡を検証する」を掲げ、この30年間の福祉文化実践活動を「3つの活動基調」と「3つの活動の柱立て」をもとに取り組んできたが、果たして、「福祉文化の推進」は、静岡県内の何処まで発信できたのか、本会の発足の原点に立ち、今年度は、これまでにしっかりと検証する大きな課題がある。

また、2013年度（平成25年度）から、地域福祉教育教材の開発に取り組み、2015年度（平成27年度）、尊い赤い羽根共同募金助成事業により「若者発 ご近所福祉かるた」（100セット）が誕生し、更に、2021年度（令和3年度）「若者発 ご近所福祉かるた」の増刷（100セット）と、「若者発 ご近所福祉かるた利用の手引き」（200部）の作成につなげた。そして、昨年度（令和6年度）三度、赤い羽根助成事業により「若者発 ご近所福祉かるた」の増刷（100セット、この10年間で総計300セット作成）と「若者発 ご近所福祉かるた活用事例集」（200部）の作成につなげることが出来た。このプロセスを基に、2024年度に引き続き、「ご近所福祉検証期」として、「ご近所の支えあい」を「見える化」「わかる化」「見せる化」する活動とし、「若者発 ご近所福祉かるた」の有効活用を、協働団体「焼津福祉文化共創研究会」とともに、県内各地へ「“ご近所福祉”こそ福祉文化」を発信検証する活動に取り組む。主な活動内容は下記の通り。

1. 2025年度全体会（第1回公開型研修会）の開催(5/24)
2. 委員会の開催（年4回 各種研修会開催日の午前中）
  - 第1（225）回：2025年05月24日（土）10:30～ 静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
  - 第2（226）回：2025年11月29日（土）10:30～ 静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
  - 第3（227）回：2026年03月07日（土）10:30～ 静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
3. 研修活動 ＊会場は、全て、静岡市清水区追分 NPO法人泉の会「寄ってっ亭」で開催
  - 第1回公開型研修会（5/24）「私にとって、ホッとするご近所を語る」
  - 「第24回静岡県福祉文化研究セミナー」（11/29）「今、あなたの地域は何色ですか・・・」
  - 第2回公開型研修会（3/07）「静岡発 福祉文化の創造30年の軌跡」
4. 調査研究活動：テーマ：「この30年間の福祉文化研究調査を検証」
5. 「本会活動30年検証報告書」の発行
6. 「若者発 ご近所福祉かるた」の活用状況の把握
7. 「若者発 ご近所福祉かるた」活用方法の開拓
8. 広報・啓発活動 ＊特に、本会30年の取り組み中心に発信
  - (1)「機関紙発行計画」に基づく『Our Life』の発行（年4回発行）
  - (2)本会ブログによる「地方発 福祉文化の創造」の発信
  - (3)協働団体ブログとのリンクによる「福祉文化の創造」の発信
  - (4)日常的に、マスコミへの情報提供（ご近所福祉の再構築等）
  - (5)関係機関・団体への定期的な情報提供
10. 関係機関・団体との協働・連携



＊平成20年度から7年間、県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」で「関係者連絡会」を設置して協議。ここから「若者発ご近所福祉かるた」が誕生する



## 「第24回静岡県福祉文化研究セミナー」開催のご案内 ぜひご参加下さい。定員20名 世代や領域を超えて、つながる“ご近所福祉”語ろう！創ろう！「今、あなたの地域は何色ですか」

本会結成7年目の平成14年に、日本福祉文化学会より「第13回学会全国大会静岡大会」開催の要請を受けて、県内外有志42名の実行委員会を組織して、平成14年11月30日・12月1日の2日間、裾野市、裾野市社会福祉協議会、社会福祉法人富岳会等の全面的協力をいただき、裾野市民文化センターで、全国から650名余の参加者が「富士山麓 いのちと暮らしによりそう福祉文化の創造と推進」をテーマに熱く議論をした。静岡県から「福祉文化の火」を消すことなく県内外に発信しようと、この大会を「第1回静岡県福祉文化研究セミナー」として、「静岡発 福祉文化の創造」を学び続けて、ここに24回目のセミナーの開催を迎える。このセミナーは、その年度に浮き彫りになった地域課題をテーマに、専門性と市民性を融合して語り合うことを目的にしている。参加者相互に、これまでの地域実践活動を振り返りながら、身近な地域で、いかに支え合いをすることが出来るか、語り合い、「共助社会の再構築」に向けて、「今、あなたの地域は何色ですか」、そして「どのような色にすることが出来ますか」のアイデアを出し合いながら、さらに、「私にとってご近所福祉とは」を学ぶ。ぜひ、ご参加を。

- 日時 令和7年11月29日(土) 13:30~15:30
- 会場 静岡市清水区追分3-5-17「寄ってっ亭」(電話 054-367-2878)
- プログラム



- 13:30 開会セレモニー
- 13:50 基調報告 「融合と協働を探る」
- 14:50 休憩
- 15:00 円卓トーク「私の地域を何色に変えられるか」
- 15:30 閉会セレモニー



- 問い合わせ・参加申し込み先：

〒425-0041 焼津市石津3丁目10-8 静岡福祉文化を考える会 代表 平田 厚  
TEL & FAX: 054-624-1924 携帯 090-4861-4547 Email [monogusa-tomy@theia.ocn.ne.jp](mailto:monogusa-tomy@theia.ocn.ne.jp)

### 「活動30年検証報告書」編集中 改めて、福祉文化の発信は出来ているのか

昨年度から、「活動30年検証報告書」編集作業にむけて、山積みの資料や記録写真の掘り起こしをし、ようやく、第1章から第6章まで作業を進めている。あくまでも、静岡発(地方発)福祉文化の創造30年を検証する「タイトル：静岡発 福祉文化の創造軌跡30年 草創期からご近所福祉検証期を迎える」として位置づけ、県民に課題提起をする。決して「実績報告書」ではない。第1章から第9章と資料編として、各章の概要は下記のとおりである。



\*若者中心の合宿セミナーで盛り上がる



\*第13回学会全国大会に向けた研修会

- 第1章 「静岡発 福祉文化の創造」の原点を迎える
- 第2章 県内各地で学んだ「現場セミナー」から福祉文化を発信
- 第3章 協働で取り組んだ「第13回日本福祉文化学会全国大会 IN 静岡」
- 第4章 静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」7年間
- 第5章 高齢者の学びから浮き彫りになった「ご近所福祉」
- 第6章 「ご近所福祉こそ福祉文化」を切り拓く
- 第7章 「OUR LIFE」から「静岡発 福祉文化の創造」を視る
- 第8章 30年間の「調査研究活動」で福祉文化を発信
- 第9章 「焼津福祉文化共創研究会」との協働による7年の歩み
- 資料編 「30年間の年表」「令和7年度活動計画」「本会規約」

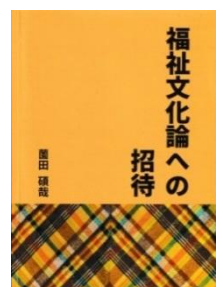
年内には見通しをつけて、本会「第2回公開型研修会」(3/7)で果たして、県民に向けて、福祉文化を発信できたか」を総括する。

日本福祉文化学会名誉会員・元実践女子短期大学生活文化学科教授

### 蘭田碩哉氏著書「福祉文化論への招待」を紹介します。

本会の活動に、これまで多大なご理解とご支援をいただき、各種研修会や研究セミナーにご参画いただいています蘭田碩哉先生が2025年3月「福祉文化論への招待」(アネスト出版・定価1,800円+税)を出版されました。第I部：福祉文化とは何か、第II部：福祉レクリエーションの展開、第III部：福祉文化研究の諸相 から構成されています。

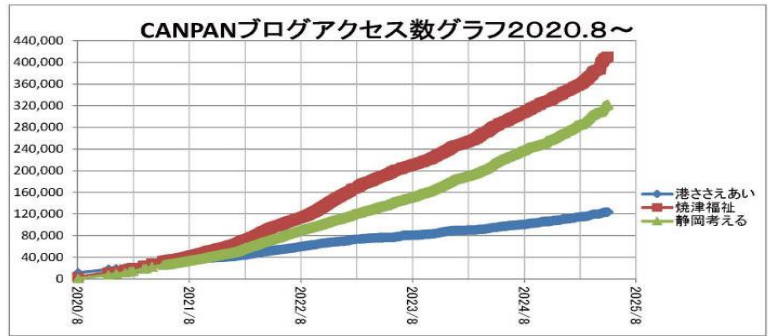
30年を迎える本会の活動の検証に、ぜひ必読をお勧めします。



## 活動見える化・情報発信

協働団体・焼津福祉文化共創研究会共に活動状況（委員会議事録・OUR LIFE・各種調査・資料等）を日常的に“ブログ”にアップし、「見える化」「わかる化」に努めている。右の表は5月1日現在のものである。4月に入り、2,594件のアクセス件数がある。身近な地域活動への関心の高まりがこうした統計からも伺える。  
\*赤線・研究会 黄緑線・本会 青線・焼津管内講座

## “ブログ”アクセス件数 最近増加傾向



## 事務局日誌拝見 (3/01~5/30)

03/01	「OUR LIFE 156号」発行・配布、メール送信実施
03/10	「令和6年度赤い羽根助成事業実施報告書」提出
03/12	会員宛関係資料（「OUR LIFE 156号」「2025年度全体会開催案内」）発送
03/29	「第224回委員会」開催（2024年度事業報告、2025年度活動計画、記念誌作成等）
04/02	静岡新聞に「かるた活用事例集」関連記事掲載 記事に関する問い合わせ多くある
04/03	県共同募金会へ「かるた活用事例集関連記事」掲載を報告する
04/07	当面の運営（会計）に関する協議
04/05	「FM やいづ」より4/8に「かるた」放送する旨連絡有
04/08	「FM やいづ」で、15:30から30分間説明をする
04/10	「かるた活用事例集」の反響を取材記者に報告する 各市町社協に、「かるた」活用について市民からの問い合わせに柔軟な対応をお願いする 今後の「かるた」問合せ検討
04/12	静岡市V連絡協議会総会出席 会計監査実施 印刷会社（セイコー社）に、「かるた活用事例集」増刷（20部・30部）見積問い合わせ
04/14	関係方面に、「かるた」貸出協力依頼 本日ブログアクセス件数 2,594件
04/19	協働団体・焼津福祉文化共創研究会加盟の「焼津市V連」総会開催 *協働団体：焼津福祉文化共創研究会の立場で、本会との協働活動内容説明
04/20	2025年度全体会関係資料及び第225回委員会、第1回公開型研修会レジメ作成作業実施
04/26	協働団体・焼津福祉文化共創研究会 2025年度 4月（第73回）定例研究会開催 *焼津市内の居場所活動実践者が定例研究会に出席し、「かるた」及び「ご近所」意見交換
04/29	2025年度 第1回公開型研修会広報啓発（マスコミ対応、一般県民宛呼び掛け）
04/30	「かるた」問合せ続く 本日まで80件の問い合わせ有
05/10	協働団体・焼津福祉文化共創研究会通信第69号発行（「かるた」活用状況掲載）
05/17	「第1回公開型研修会」再周知 焼津福祉文化共創研究会5月（第74回）定例研究会開催
05/24	第225回委員会開催 2025年度 第1回公開型研修会開催（本会全体会）
05/30	「OUR LIFE 157号」発行・配布、メール送信実施 研修会参加者への情報提供 会員宛に、全体会及び各種資料送付、および当面の連絡文書送付



## ●福祉文化実践活動をご一緒にしませんか。

「静岡福祉文化を考える会」は、阪神淡路大震災(1995)翌年の平成8年9月1日に発足し、「静岡発 福祉文化の創造」をもとに、関係団体との協働で、身近な福祉問題を活動テーマに、29年の福祉文化実践活動に取り組んできた。特に、2020年度（令和2年）以降は、「福祉文化とご近所福祉」基に、活動を具体化している。本会の活動基調は、「専門性と市民性の融合」「公開型地域総合学習の企画と実践」「課題解決に向けたプロセス重視」。

更に、「調査研究活動」「実践活動の検証」「啓発学習」の3つの具体的な柱立てにより活動に取り組んでいる。◆ブログで広く本会活動を発信中。

◆関心のある方は、下記に問い合わせを。

■会費：社会人3,000円 大学生以下1,000円

■問い合わせ・連絡先：424-0841 静岡市清水区追分3-5-17

NPO法人泉の会内 静岡福祉文化を考える会事務局

Tel054-367-2878 Fax: 054-367-2884

「近所の大切さ、かるたで学ぶ 支え合い再認識 事例紹介」の見出しで、「若者発ご近所福祉かるた活用事例集」が新聞掲載（4月2日）されたその当日から、今日までに、約90件の問い合わせがある。尊い赤い羽根共同募金助成事業により「かるた」誕生10年間の結晶を県民に報告と共に、問題提起をすることが出来た。30年の活動を更に検証。



焼津福祉文化共創研究会QRコード



静岡福祉文化を考える会QRコード